

石仏を彫ってみよう 「石彫り体験ワークショップ in五百羅漢」

「五百羅漢石仏群」に代表されるように、市内各地にはさまざまな年代に作られた多数の石仏が点在しています。

長年にわたって受け継がれた石工の伝統的工法を学び、ミニ石仏づくりを体験してみませんか。制作後、ミニ石仏の展示会も予定しています。

- 日時／2月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、3月1日(土)、2日(日) 9:00～12:00 全6回
- 場所／羅漢寺境内前駐車場(北条町北条)
- 対象／全講座を受講できる18歳以上の未経験者で市内在住者
- 講師／師仰の会うえはら
- 定員／10人※応募多数の場合は抽選
- 参加費／500円(全6回分)
- 申込方法／1月15日(水)までに申込用紙に必要事項を記入し、FAX、メールで申し込みください。
※申込用紙は市ホームページからダウンロードできます。



ミニ石仏
高さ30cm・幅10cm。ノミと金槌を使って石を彫り、制作します。

【申込・問合せ先】 商工観光課(観光振興係) ☎④8740 FAX④1802 shokokanko@city.kasai.lg.jp

ねっぴ〜&フドッキー博士 の風土記の里をたずねて

■第4回 鴨坂 鴨谷

ぜ〜ぜ〜、博士、しんどいよ。ここはどこなん？

ここは北条町古坂から鴨谷町にぬける古坂峠じゃ。播磨国風土記では「鴨坂」と書かれてるところじゃ。

車が走る道路に沿って、こんな素敵な小道があったんや。よく整備されてるね。

古坂里山公園の散策路で、ここからランドマークタワーにも行けるぞ。播磨国風土記には「一つの矢を発ちて、二つの鳥に中(あた)たりき。即ち、矢を負ひて山の岑より飛び越えし処は、鴨坂と号(なづ)け、落ち斃(たふ)れし処は、仍(よ)りて鴨谷と号(なづ)く。羹(あつもの)を煮し処ところは、煮坂といふ」と書いてあるんじゃ。つまり、放った一本の矢が偶然にも二羽の鴨に当たり、鴨は飛んで逃げようとして、飛び越えたところが鴨坂で、落ちたところが鴨谷、羹(汁物など)を煮たところが煮坂というんじゃ。

傷ついた鴨は
この峠を越えて今の鴨谷町に落ちたのね。鴨が落ちた谷だから鴨谷なのね。
金毘羅宮から見下ろす古坂峠



そうなんじゃ。毎年同じ時期に飛来して、同期を告げる鴨を神聖な鳥と説明したが、一本の矢が二羽に当たるのもめでたいことと言えるのじゃな。

風土記ドキドキ！そんな神聖なめでたいものを料理しちゃっていいの？

めでたいものは、まず神にささげるんじゃ。そのあと人も食べるのが古代からの日本のスタイルじゃ。鏡餅もお節料理も神棚にあるじゃろ。次は鴨をささげた煮坂に行ってみるかの。



問合せ先／播磨国風土記推進室 ☎④ 8756
FAX④ 1800 harima1300@city.kasai.lg.jp

KASAI データバンク 人口 / 46,410 (− 11) | 男 / 22,593 (± 0) | 女 / 23,817 (− 11) | 世帯数 / 17,102 (+ 10)
H25.11.30 現在 (前月比) 11月の出生数 / 25人 死亡数 / 38人

■ 加西市ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>

■ 加西市の市外局番は 0790 です。誌面では省略しています。

発行 / 加西市
〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790④1110(代)
編集 / 加西市ふるさと創造部秘書課 ☎0790④8701 FAX0790④0291